

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月6日

協議会名: 氷見市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
加越能バス株式会社	<p>運行系統名: ひみ番屋街経由氷見市民病院</p> <p>運行区間: JR氷見駅～ひみ番屋街～氷見市民病院</p>	<p>1 市広報紙、ホームページ、観光案内等にバス情報を掲載し、周知した。</p> <p>2 現状分析と計画策定の基礎データとして乗降調査を実施した。</p> <p>3 通勤・通学利用を取り込むため、JR氷見線・地域間幹線系統との接続性を向上させるダイヤ改正を行った。</p> <p>4 利用促進のため、氷見線・フィーダー系統の時刻表等を掲載した「ひみまちなかバスマップ」を作成し、市内各所のほかバス車内にも配架した。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された	A <p>1 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1便あたりの利用者数目標値 平日3.9人、土日祝日9.1人 ・系統別の年間利用者数 1,600人 <p>2 効果達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1便あたりの利用者数目標値 平日4.6人、土日祝日9.3人 ・系統別の年間利用者数 3,269人 <p>全て目標値を達成し、利用者数は前年度比204%となった。ダイヤ改正後から利用者増となったことから、接続性に配慮したダイヤが利用者増につながったと考えられる。</p>	<p>1 次年度にバス位置情報等が取得できる「とやまロケーションシステム」が運用開始となり、バス利用の利便性が高まるため、市広報紙・ホームページ・観光案内等でシステムを周知する。</p> <p>2 乗降調査を継続し、利用実態を把握し、ダイヤ編成に活用する。</p> <p>3 JR氷見線・地域間幹線系統との乗継利便性を確保・維持し、乗継方法の周知を行う。</p>
加越能バス株式会社	<p>運行系統名: ひみ番屋街</p> <p>運行区間: JR氷見駅～ひみ番屋街</p>	<p>1 市広報紙、ホームページ、観光案内等にバス情報を掲載し、周知した。</p> <p>2 現状分析と計画策定の基礎データとして乗降調査を実施した。</p> <p>3 通勤・通学利用を取り込むため、JR氷見線・地域間幹線系統との接続性を向上させるダイヤ改正を行った。</p> <p>4 利用促進のため、氷見線・フィーダー系統の時刻表等を掲載した「ひみまちなかバスマップ」を作成し、市内各所のほかバス車内にも配架した。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された	A <p>1 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1便あたりの利用者数目標値 平日3.9人、土日祝日9.1人 ・系統別の年間利用者数 6,800人 <p>2 効果達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1便あたりの利用者数目標値 平日4.6人、土日祝日9.3人 ・系統別の年間利用者数 8,000人 <p>全て目標値を達成し、利用者数は前年度比117%となった。ダイヤ改正後から利用者増となったことから、接続性に配慮したダイヤが利用者増につながったと考えられる。</p>	<p>1 次年度にバス位置情報等が取得できる「とやまロケーションシステム」が運用開始となり、バス利用の利便性が高まるため、市広報紙・ホームページ・観光案内等でシステムを周知する。</p> <p>2 乗降調査を継続し、利用実態を把握し、ダイヤ編成に活用する。</p> <p>3 JR氷見線・地域間幹線系統との乗継利便性を確保・維持し、乗継方法の周知を行う。</p>

加越能バス株式会社	<p>運行系統名： 市街地循環左回り</p> <p>運行区間： 氷見市民病院～JR氷見駅～ 氷見市民病院</p>	<p>1 市広報紙、ホームページ、観光案内等にバス情報を掲載し、周知した。</p> <p>2 現状分析と計画策定の基礎データとして乗降調査を実施した。</p> <p>3 通勤・通学利用を取り込むため、JR氷見線・地域間幹線系統との接続性を向上させるダイヤ改正を行った。</p> <p>4 利用促進のため、氷見線・フィーダー系統の時刻表等を掲載した「ひみまちなかバスマップ」を作成し、市内各所のほかバス車内にも配架した。</p>	A	B	<p>1 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1便あたりの利用者数目標値 平日3.9人、土日祝日9.1人 ・系統別の年間利用者数 6,500人 <p>2 効果達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1便あたりの利用者数目標値 平日4.6人、土日祝日9.3人 ・系統別の年間利用者数 5,802人 <p>年間利用者数目標値の不達理由として、観光客の入込客数が減っていないこと、早朝と午後にはダイヤを組んでいることから、通学・通勤・買い物などの生活利用が想定より伸びなかったと考えられる。</p>
加越能バス株式会社	<p>運行系統名： 市街地循環右回り</p> <p>運行区間： 氷見市民病院～JR氷見駅～ 氷見市民病院</p>	<p>1 市広報紙、ホームページ、観光案内等にバス情報を掲載し、周知した。</p> <p>2 現状分析と計画策定の基礎データとして乗降調査を実施した。</p> <p>3 通勤・通学利用を取り込むため、JR氷見線・地域間幹線系統との接続性を向上させるダイヤ改正を行った。</p> <p>4 利用促進のため、氷見線・フィーダー系統の時刻表等を掲載した「ひみまちなかバスマップ」を作成し、市内各所のほかバス車内にも配架した。</p>	A	A	<p>1 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1便あたりの利用者数目標値 平日3.9人、土日祝日9.1人 ・系統別の年間利用者数 5,100人 <p>2 効果達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1便あたりの利用者数目標値 平日4.6人、土日祝日9.3人 ・系統別の年間利用者数 5,363人 <p>全て目標値を達成し、利用者数は前年度比105%となった。ダイヤ改正後から利用者増となったことから、接続性に配慮したダイヤが利用者増につながったと考えられる。</p>